

4. スピーチコンテスト

第2学年 杯争奪スピーチコンテスト

最優秀賞	4組	さん	『ネット社会』
優秀賞	6組	さん	『頭のよさとは何か』
優秀賞	8組	君	『放火記者のもたらす影響』



『ネット社会』

最近は何でもネットで買えたり、調べたり、顔のわからない相手とメールをしたり出来ます。それは便利でもありますが、危険な事でもあると思います。ネットの中では誰も自分の本当の姿を知りません。だから嘘をついたり、別の人物になりきったりすることが出来ます。ネットの中の自分と現実の自分。そのうち、どっちが本当の自分なのかわからなくなってしまうのではないかと私は思います。もしそうなってしまったら人はどうになってしまうのでしょうか？

最近おかしな事件がたくさん起きています。この原因のひとつにネットなどの影響もあるのではないかと思います。たまには見知らぬ相手とメールをしたり、架空の人物になってみるのもいいかもしれませんが、そこにはまってしまったりはけません。あくまでもコンピュータはひとつの道具や手段であって、それに使われてはいけません。メールで話をするのもいいですが、直接会って会話して友達関係を深めていくべきです。そういう大切なものを見失わずに、コンピュータやネットという道具や手段をうまく使いこなせる人が増えるといいと思います。

第1学年 スピーチコンテスト

最優秀賞	2組	さん	『私の尊敬する人』
優秀賞	1組	さん	『高校生になって』
	3組	君	『本気で取り組む高校生活』

『私の尊敬する人』

これから、私が尊敬する中学校時代のバスケット部の顧問の先生についてスピーチしたいと思います。先生は本当にバスケットが大好きで、とても熱い人です。そして、どんなときにも妥協を許さず、一生懸命にバスケットのことも、バスケット以外のこともたくさん教えてくれました。その中の一つは、「人として当たり前前の方が当たり前前ができる」ということです。「バスケットだけができて、芯の強い選手にはなれない」と言われ、特に返事や挨拶はうるさく言われました。しかし、これらのおかげで、人間的にも成長したし、精神的にも強くなれたと思います。先生には本当に感謝しています。そして、先生は今でも私の憧れの存在です。

スピーチコンテストは平成15年度から総合的学習の時間の一環として実施され、今年で3年目になります。自己理解を深め、表現力を培うために全員で予選を行っています。

